

平成 2 1 年度 実施事業	事務事業名 三市スポーツ大会事業経費
-------------------	---------------------------

区分	番号	名 称
章	5	豊かな個性と人間性を育むまち
節	4	スポーツを通じて健康で活力ある生活をめざす
施策	1	生涯にわたるスポーツ活動の推進
小分類	3	競技スポーツの推進
主要な施策	3	交流を通じて豊かな心の育成
事務事業番号	001	事務事業コード 54133001 事業開始年度 昭和 5 4 年度 事業終了年度 平成 - 年度

会計種別	一般会計	予算書上の事務事業名	三市スポーツ大会事業費
------	------	------------	-------------

部 名	教育部	グループ名	社会教育G
-----	-----	-------	-------

統合前または名称変更前の事業名	
-----------------	--

事務事業の目的と成果

対象	(何を対象にまたは誰を対象にした事務事業なのかを具体的に記載ください) 室蘭市、伊達市、登別市の小学校に通う児童
手段 (事業の内容・活動)	(目指す姿を実現するためにどのような手法で行うのか、事業の内容を具体的に記載ください) 三市(登別・室蘭・伊達)の小学生のスポーツ交流大会を実施。 【平成 2 1 年度】 ・夏季大会：陸上競技大会 ・冬季大会：参加者減少により、休止。 これまでの競技 ・夏季：陸上競技 ・冬季：スキー、スケート、ドッジボール、歩くスキー、雪合戦(H19)
目指す姿 (成果)	(事務事業を実施することでどのような状態にしたいのか具体的に記載ください) 三市(登別・室蘭・伊達)の小学生のスポーツ交流を通して、少年の健全育成を図る。
根拠法令等	(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称をすべて記載ください) 登別市スポーツ振興基本計画

指標の推移

区 分		単位	区分	21年度 実績	22年度 目標	23年度 目標	24年度 目標	25年度 目標
成果 指標	夏季大会参加者数	人	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	89				
			目標値					
			実績値					

事業費の推移

区 分			単位	21年度 決算	22年度 当初予算	23年度 見込	24年度 見込	25年度 見込	23～25年度 合計
事業 の 財 源 内 訳	国庫支出金	名称	千円						0
	道支出金	名称	千円						0
	地方債	名称	千円						0
	その他	名称	千円						0
	一般財源	名称	千円	182	192	184	184	184	552
合 計				182	192	184	184	184	552
(参考) 上記事業を実施する上で 必要となる人件費			職 員	千円	106	111			
			嘱 託 員	千円	0	0			
			臨時職員	千円	0	0			
			合 計		106	111			

担当グループによる事務事業評価の内容

1. 事務事業の妥当性について			
今後市が事業主体として実施していくことは妥当ですか？	→	妥当である 妥当ではない	→ 妥当である理由、妥当ではない理由は何ですか？ 三市の小学生がスポーツを通して健全育成と相互交流を深めるため、市が実施することが妥当である。
2. 事務事業の成果について			
成果はあがっていますか？	→	成果があがっている どちらかといえばあがっている 成果があがらない	→ 成果があがっている理由、あがらない理由は何ですか？ 事業を通して、児童の交流が図られた。
3. 事務事業の成果向上について			
成果を向上させることはできますか？	→	大きく向上させることができる 少し向上させることができる 向上させることはできない	→ どのようにして向上させますか？ 向上させることができない理由は何ですか？ 参加者のニーズを把握しながら、競技を実施することで、児童の交流や参加者の増加が図られる。
4. 事務事業の経済性・効率性について			
成果を落とさずにコスト（予算や人工、所要時間）を削減することはできますか？	→	削減できる 削減できない	→ どのような方法でコストを削減しますか？ 削減できない理由は何ですか？ 三市の負担金がほとんどであり、削減は難しい。

担当グループによる評価

維持	左記の評価を選択した具体的な理由（根拠）	児童の健全育成や交流に繋がる事業であるため、継続が必要である。
-----------	----------------------	---------------------------------

総合的な評価（当該事務事業の方向性）

維持	備考
-----------	----

評価の種類

- 拡大（事務事業の規模や経費を拡大し、これまで以上に強力的に推進する事務事業）
- 維持（現状の対象や目指す姿、手段などに変更が無く、今後も実施する事務事業）
- 改善（現状の手段や経費などを見直し、成果指標の向上等を行う必要がある事務事業）
- 休止（暫定的に休止する事務事業）
- 終了（当初から決められていた事業期間が終了または成果品等が完成し、目的を果たした事務事業）
- 廃止（当該事務事業の予定を変更し、廃止する事務事業）